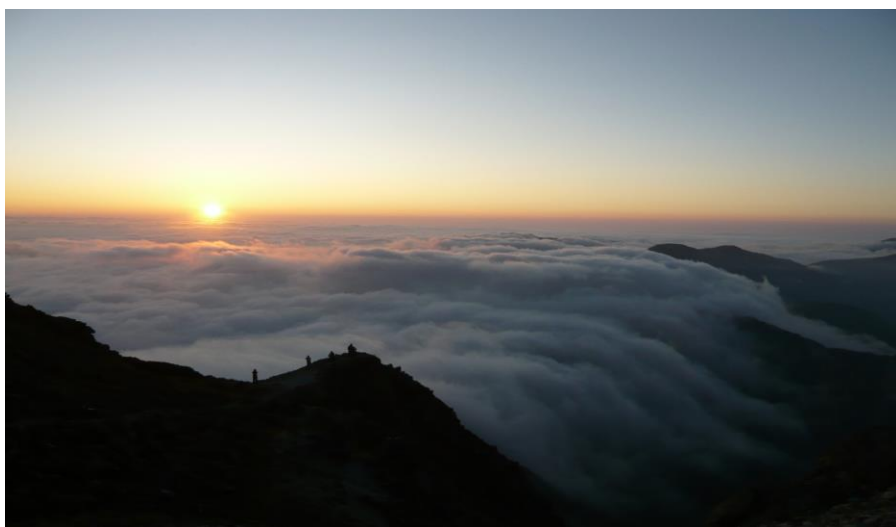


県連ニュース

2016年 9月号

NO-541



2009.09.07 槍の肩にて撮影

「落日と西鎌尾根を流れ落ちる雲海」

藤田直生氏（比良雪稜会所属）提供

滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄 稿	リレーエッセイ	2
案 内	県連主催 比良縦走大会	3
	40周年記念行事 登山祭典	4
報 告	第7回理事会議事録	5
	アルパイン講習会 第3回実技	7
	個人山行報告書	9
	ぐうたら理事長のつぶやき	12
	新穂山顛末記	13
予 定 表		15
	編集後記	16

リレーエッセイ

京都新聞の凡語に次のような記事が掲載されていた。

・・・今年から8月11日が祝日「山の日」になった。祝日法は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日と定めている。

登山を楽しむために大切なのは安全だが、警察庁のまとめによると、2015年は山岳遭難が全国で2508件発生し、遭難者は3043人と初めて3千人を超えた。死者・行方不明者は前年より24人多い335人になり、統計が残る1961年以降で最多となった。京都府、滋賀県の遭難者はそれぞれ30人と79人、死者・行方不明者は5人と10人だった。

年齢層別では、60代以上が全国遭難者の51%を占めた。中高年を中心とした登山ブームを背景に、遭難は年々増え続けている。体力や経験を踏まえて山を選び、余裕のある計画を立てる必要がある。登山計画書を家庭や職場、登山届ポストなどに提出しておくことも重要だろう。

<われわれは山に対してはいつになっても初心者であるという謙虚な気持ちを、つねに持っていたいものである>。

登山家でもあった故今西錦司京都大名誉教授が「山岳省察」に記している。山へ出かける前に思い起こしたい。

労山に結集している会員の年齢層を見ると60代以上が大半を占めている。(滋賀労山も同様) 自分ごととして、肝に銘じたい。

会の今年の夏山合宿は南ア「北岳」であった。一日目は、広河原から八本歯の科尔、「北岳」を経て北岳山荘に泊まった。二日目は、間ノ岳を往復し二回目の「北岳」を登り北岳肩の小屋に泊まった。幸い早出して午前中に小屋に到着したために、雨に降られることもなくゆっくり休養できた。翌日は、小太郎尾根分岐から大樺沢二俣を経て広河原に下山した。平均年齢70才近いメンバーでは「これが限界かな」と思った合宿であった。個人山行では、山の日「劔岳」に登った。カニのタテバイの登りとカニのヨコバイの下り等、岩登りの技術を要するコースに「大丈夫かな？」と思われる登山者がどんどんアタックしていた。事故と紙一重では済まされない現実を見た思いであった。

ちごゆり山歩会（柴田）

2016 比良縦走大会の案内（滋賀県連主催）

～登山のパーティシップ、メンバーシップと持久力チェック～

開催日時 2016年9月25日（日）

参加申込 県連加盟の各山岳会でパーティーを組み参加して下さい。参加者の実状に応じて複数のパーティーで参加することも可能です。リーダーは**9月15日までに**遭対部理事佐藤(ms4713649@yahoo.co.jp)あて登山計画書をメール送付して下さい。これを以て参加受付とします。

◎リーダーは縦走コースを十分把握しているとともに新特別基金加入者となります。

コース 霊仙山口(登山届ポスト)8:00→権現山→蓬莱山→★打見山(ロープウェイ山頂駅)→木戸峠→比良岳→烏谷山→南比良峠→金糞峠→★北比良峠→釈迦岳→ヤケ山→涼峠→揚梅ノ滝入口の東屋(ゴール)

◎縦走隊の中間に理事2名、アンカーに理事3名が随きます

注意事項 ①打見山および北比良峠通過時に友永理事長(080-4971-6231)まで、その旨連絡して下さい。

②北比良峠に14:00以降到着の場合はパーティーの責任で下山していただきます。(北比良峠に理事3名が待機します。)

③その他コース途中での下山は各パーティーの責任で下山して下さい。その際、必ず長谷川実行委員長(090-3268-4183)に連絡して下さい。

④ゴールは17:00までに必着とします。(遭対部西村理事外数名のスタッフが待機します。)

⑤道迷い、けが、事故等のトラブルについて主催者は責任を負いません。

参加費 一人1000円(保険、諸費用含む)当日受付で徴収します。

集合場所 JR和辻駅7:10 受付、出発式、秋田会長のコース説明後、タクシー乗り合わせで登山口へ向かいます。(タクシー代は各自負担)
(参考) JR近江今津行き 山科駅6:38 和辻駅7:03

携行品 地図・コンパス・雨具・ヘッドランプ・飲料水・行動食・非常食・救急用品・健康保険証(写)・可能な方は無線機

中止判断 前日24日の17:00発表の天気予報で滋賀南部降水確率50%以上で中止とし、20時までにパーティー責任者経由で参加者に連絡します。

第54回登山祭典(40周年記念行事) 実施案内 ー速報ー

各会で秋の一日、登山の楽しみを皆が分かち合い、同好の士と語らい、54回目を迎えた登山祭典を盛り上げ、併せて登山人口の拡大につながれば幸いです。

実施日 2016年10月23日(日曜日) *雨天中止

1.場 所 八雲ヶ原集中 2.集合時間 午後12時(集会スタート12時半～)

3.その他 八雲ヶ原に向けての各会コースは下記の表の通り(8月15日現在)。

今回は他会へのコースの参加も認めます。その場合は該当の申込先へ連絡ください。

NO	担当山岳会	コース	集合場所・申込先等
A	滋賀山友会	イン谷口→大山口→金糞峠→八雲ヶ原→ 北比良峠→(ダケ道)→イン谷口 歩行時間・約5時間(一般向)	集合・イン谷口 8:32 参加費 300円 締切り 10/10 申込先・豊田永浩 <toyoda@eos.ocn.ne.jp> 申し込みはメールのみ
B	湖南岳友会	イン谷口→堂満岳→金糞峠→八雲ヶ原 →北比良峠→イン谷口 歩行時間・約7時間(健脚向)	集合・比良駅 7:00 参加費 300円 定員・10名 締切り 申込先・村田啓二 0748-62-9400(fax可)
C	比良雪稜会	小野駅・和邇駅=(貸切バス)=葛川細川 →細川尾根→奈ヶ岳→コヤマノ岳ブナ林→ 八雲ヶ原→ダケ道→イン谷口=(貸切バス) =和邇駅・小野駅 ※野点を行います 歩行時間・約6時間(やや健脚向)	集合・小野駅 7:00 和邇駅 7:05 貸切バスに乘車 参加費 一般 3000円 中学生以下 2500円 定員・50名 締切り 定員になり次第 申込先・西村高行 077-594-0454(FAX可) kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp
D	ちごゆり山歩会	イン谷口→(ダケ道)→北比良峠→八雲ヶ原 (往復) 歩行時間・約5時間(一般向)	集合・比良駅 8:10 参加費 300円 定員・10名 締切り 10/16 申込先・柴田英男 0771-23-0845(fax可)
E	彷徨倶楽部	ガリバー旅行村→八洲の滝→大摺鉢→ 八雲ヶ原→イブルキのコバー大摺鉢→旅行村 歩行時間・約5時間(健脚向)	集合・ガリバー旅行村 9:00 参加費 300円 定員 10名 締切り 申込先・長谷川伸次 075-954-2448(fax可)
	シャクナゲ	他会のコースに参加	

※この速報は2016年8月15日現在の情報で作成しています。その後内容の変更がある場合もありますので申込の際には担当会にご確認ください。

2016年度第7回理事会報告

2016・8・3(水)於;県連事務所

出席;秋田、奥野、友永、中島、宮内、小林、佐藤、堀部、大月、長谷川、池田、高玉、
欠席;北村、西村、東郷

司会:友永 記録:中島

★下記の議題につき、報告・協議・検討・決定しました。

1. 比良全縦(協議)

- ・日程:9/25(日)
- ・担当:遭難対策部(西村・佐藤)・教育部(長谷川・友永)
- ・県連ニュース9月号告知記事原稿(15日までに長谷川→佐藤→奥野さんへ)
- ・コース:栗原⇒権現山⇒蓬莱山⇒北比良峠⇒楊梅ノ滝入口東屋前
- ・参加費:1,000円(交通費含まず)、締切りは9/17(木) 各会でまとめる。
- ・集合:9/25(日)JR和邇駅前7:10(栗原行きバスは無いのでタクシー利用)
- ・中止の判断:9/24(土)17時 滋賀県南部の予報で降水確率50%以上の場合中止する。
実行委員長⇒各会連絡担当⇒参加者のルートで連絡(実施の場合は連絡なし)
- ・計画書:計画書は各会へ出す(山友会 宮内、比良雪 堀部、岳友会 北村、ちごゆり 友永から彷徨 佐藤) 各会は9月15日までに県連 佐藤さんへ提出する。
- ・準備:受付名簿、名札、地図(参加者に配布)、無線機、携帯、完歩証、県連腕章、旗、テント(タープ)、チェックポイント&ゴール接待備品
- ・実行委員長:長谷川
- ・会計:宮内
- ・諸注意・コース説明:秋田 和邇駅で行う。名札を渡す。
- ・スーパ:長谷川、秋田、北村 中間:池田、中島
- ・チェックポイント:1_北比良峠(宮内、小林、高玉)2_ゴール(西村、友永、大月)笹平は無し
- ・県連連絡先:友永 080-4971-6231へ (JR和邇駅→JR北小松駅→ゴールへ移動)
- ・完歩証:昨年作ったものを2016年版にして使用。順位は記載しない。
- ・サブコースの設定はしない。
- ・登山時報編集部より依頼の原稿:友永理事長でおこなう。

2. 登山祭典(40周年記念行事)

- ・場所:八雲ヶ原集中(集合時間は12時30分より前)
- ・日程:10/23(日)
- ・担当:組織部(池田・東郷)・友永
- ・各会コース(別紙参照)
- シャクナゲは各会のコースに参加。
- ・チラシ制作(): / までに各会へ配送
- ・一般参加者の傷害保険(労山短期保険):氏名、生年月日か年齢(締切:10/21、担当:友永)
- ・中止の判断:各会に委ねる。中止した場合は理事長にメール連絡すること。
- ・県連ニュース原稿:各会から提出してもらう。期限: / ()、提出先:後で決める。
- ・集会では挨拶、スキー場跡地の現状回復、各会の紹介など行なって交流を図る。
- ・ 県連へ納めるのは一般参加者の保険料100円/人。

- ・案内は全国連盟、近畿ブロック、友好団体(熊森、新日本スポーツ連盟、綾野山歩会ほか)に出す。
- ・県連ニュース9月号に詳細を掲載する。
- ・各会コースへの相互参加を自由にする。

3. 「道迷い」遭難事故防止講演会(40周年記念行事)(協議)

日程時間：11/19(土)18時～21時

会場：ピアザ淡海 207号会議室

担当：遭難対策部(佐藤、西村)協力 救助隊・教育部

講師：羽根田 治 氏(遭難関係の著書多数)

規模：100人くらい

参加費：会員 500円 一般 1000円

チラシ作成：原案を8月中に(佐藤)

4. 各部報告

組織：会員数動向 (前年度末対比 230/232 99.1%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
86/84	46/46	54/55	21/21	18/18	5/5
合計 230/229 2016.7E/2016.6E 100.4%					

教育

- ・7/13(水)第2回座学
- ・7/24(日)第3回実技 金毘羅山
- ・8/4(木)第3回座学
- ・8/28(日)第4回実技 金毘羅山

遭難対策：上記で討議

自然保護

- ・7/9 近ブロ自然保護委員会報告 参加 中島
- ・7/19 石樽峠の不法投棄ごみ回収を実施した

機関紙：県連ニュース9月号 原稿締切 8/15、印刷・発送 8/22

救助隊：9/8 京都府連と搬出訓練の第2回打ち合わせ会議

CSS：7/16～18 阿弥陀岳南稜？

財政：、SKI-NET： 特記事項なし

5. その他

- ・40周年意見交換会 8/9(火)事務所 19時から
山友(豊田)、岳友()、雪稜(西村)、彷徨()、ちごゆり()、シャクナゲ(不参加)
- ・ホームページについて 立上げ費用 20,000円、月管理費 1,000円を山友会新田さんへ
- ・日本山岳遺産基金申請予定 8/31まで 山と渓谷社から依頼がきたので友永が作成する
- ・全国登山研究集会 11/5～6 国立オリンピック青少年センター
- ・第20回全国ハイキング交流集会 11/5～6 国立オリンピック青少年センター
- ・第18回全国自然保護集会 11/12～13 つくば市 筑波ふれあいの里 幾らかの補助をする
- ・ハイキングセミナー(案) スタッフ シャクナゲ(太田理)
- ・10月2日(日)兵庫労山50周年記念式典に 友永が参加する。

■ 次回第8回理事会 9月7日(水) 19:00～

アルパイン講習会（第3回実技講習）

田中啓子（比良雪稜会）

日 時：2016年7月24日（日）晴れ 9時30分～16時

場 所：京都北山 金毘羅山 北尾根→舟→北壁→Y懸垂の頭

参加者：（講師・スタッフ）秋田・小関・長谷川・北村き・濱野・乾・平山

（受講生）其阿弥・田中

講習の目的：マルチピッチのフォロークライミングと懸垂下降の訓練

講習内容：いずれもザックを背負って実施

①北壁からY懸垂の頭まで6ピッチをフォロークライミング

②舟で懸垂下降の訓練

【講師・スタッフのアドバイス】

（秋田）岩登りは「習うより慣れろ」です。

8月、9月の実技講習も同じルートで行います。今回難しく感じたところも回を重ねるうちに容易になります。岩に慣れれば岩（ホールド）を見る目も養われてきます。

（小関）回数を重ねていくうちにマルチピッチの登攀システムのイメージをつかむことができますと思います。自己ビレイの仕方、登攀の準備、ダブルロープでのビレイの練習を重ねるごとに前回よりも正確に、スピーディーに、スムーズに出来るように。

（濱野）座学で教わったマルチピッチの手順について、今回の実技で理解できたのではないのでしょうか。前回のビレイ方法と共に繰り返し練習しましょう。初めての北尾根、北壁は大変だったと思います。私も最初は怖かったです。次回は、もっとうまく登れると思います。

（乾）マルチピッチクライミングで覚えることはたくさんありますが、まずは「セルフビレイ」です。取り付きでも、登攀途中でも、終了点に着いても。安全にクライミングを楽しむために、まずはセルフビレイの習慣を身に付けましょう。

【受講生の感想】

（其阿弥）暑い中の実習をありがとうございました。実際に身体を動かすことでマルチピッチクライミングが頭の中で少し整理出来ました。しかし、セルフビレイと繰り出すロープが上や下になってうまくロープが出せなかったり、素早く正確にクローブヒッチができなかったりと まだまだスムーズには動かせ

んでした。登る壁もどんどん難しくなって、戸惑いましたが、動けなくなると、すぐさま適切なアドバイスをいただけて有難かったです。

(田中) 金毘羅での実技講習2回目、前回と同じく緊張しスムーズに基本手順が出来ず手間取りました。ビレイ時のダブルロープの送り出し方も難しく、北壁では動けなく固まってしまいましたが、その都度、丁寧に教えていただき有り難い気持ちでいっぱいでした。少しずつですが確実にマスターできるように頑張りたいです。



北壁でにっこり



舟で懸垂下降



Y懸の頭で

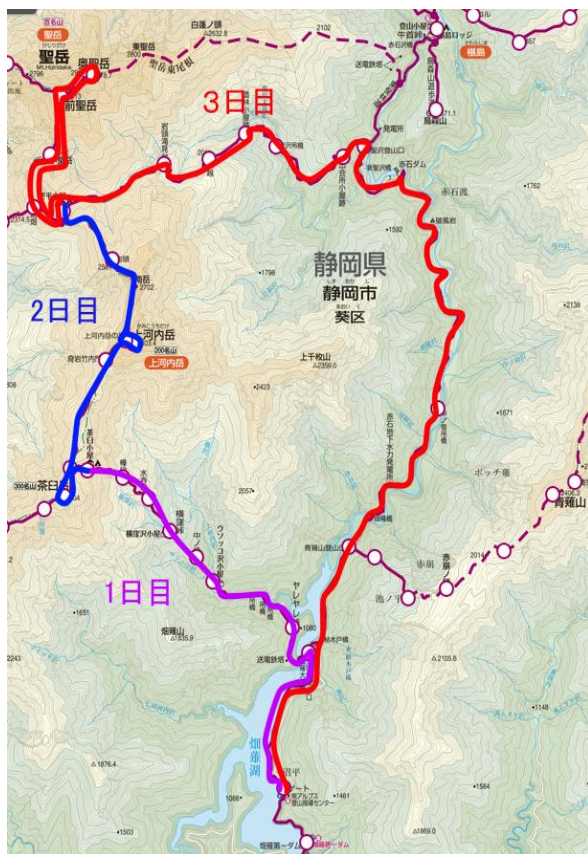
個人山行 ゆるゆる・やれやれ南アルプス 2016

乾 久子(彷徨倶楽部)

日時：2016年 8/4～8/6 山域：南ア 茶臼岳(2600m)・上河内岳(2800m)・聖岳(3004m)

参加者：男子2名(ギックリ腰1月経過52歳・登山初めての23歳)・女子1名

目的：高地の植生調査



色々あって：営業小屋を利用しないので、バスに乗らず2泊3日予備1日で42.2kmを歩くことにした。病み上がり、初心者、アラカンと多彩、いや多難なメンバーなので、今回は標準コースタイムを気にせず、“疲れたら休む”のゆるゆるで登る。

行程(調査時間含む)：ゆるゆるで参考になりませんが・・・

●1日目：9時間30分 / 8.2km

標準コースタイム(以下CTと略)+3時間・・・
06:30 沼平ゲート(標高945m) → 16:00 茶臼小屋テン場(標高2415m)

●2日目：8時間36分 / 6.7km

CT+3時間30分・・・03:30 茶臼小屋(2415m)
→ 12:06 聖平小屋テン場(2267m)

●3日目：20時間35分 / 27.3km

CT+7時間・・・02:00 聖平小屋(2267m)→22:35 沼平ゲート(945m)

概要

【8/4 晴れ時々曇り一時雨】

畑薙大吊橋を渡ると、森が始まる。木漏れ日がキラキラしてわくわくする。初めての登山の彼も楽しそうだ。ヤレヤレだの、ウソッコだのがつく地名のとおり、いじわるなアップダウンを幾つかやり過ぎると沢沿いの道になる。まだ序盤なのでのんびりはできないと言いつつ、沢の水でお茶を沸かし、流れに足を浸す。ミズナラやカツラの大木を眺めながら、登っていく。一応調査なので、樹に触れたり足元の花に目をやったりと忙しい。くたびれると立ち止まる理由が欲しいので、無駄に質問をして、メモをとる。白樺がダケカンバに変わり、発電機の音が聞こえてくると、茶臼小屋だった。

【8/5 晴れ時々曇り一時雨】

2時に目が覚める。時折雨音がして心配な夜を過ごしたが星空だ。これなら茶臼岳に登って、

ご来光を見ることができる。そして東の空の影絵のような富士山の横に、オリオン座があった。冬の星座の印象が強いが、夏のオリオン座ってどうしてこんなに巨大に見えるのかと思う。茶臼岳頂上での日の出は5時頃だった。贅沢なひと時を堪能し、ヘッドランプを消す頃には、これから進む上河内岳の輪郭がはっきり見えてきた。奇岩竹内門を経て、上河内岳の肩に到着。前日の雨で湿ったシュラフや、テント、ツェルト、服などを広げて干す。ついでに私達も天日干しとばかりに寝転がる。上河内岳の肩から頂上は標高差60m、「駆け登ったら、すぐだよ」と23歳をそそのかし、私は手を振って見送る。そこから南岳を経て、500m程標高を下げると、聖平小屋である。無料のウェルカムフルーツパンチに生きかえる。

【8/6 晴れ】

前日14時に寝たので、1時起床でも身体が楽だった。「未明～朝のうちに聖岳にピストン、聖平経由でそのまま聖沢沿いに下る。そして車道を約16km、合計27.3kmを歩く予定・・・」自分でそう計画しておきながら、その長さにげんなりする。身体が目覚めてきたところで登山開始。聖平を早めに出発したせいか、私たちの下方にヘッドランプの灯りが見える。ご来光を眺めながら、3000mのティータイムを楽しみ、奥聖岳まで足を延ばす。秘密の花園と名付けたお花畑では、白い毛をつけたチングルマが風に揺れていた。ここから約2000mを下ることになる。天気も安定しているので、炎天下の車道歩きは避けて、涼しくなってから歩くことにする。となれば、急ぐ必要がないのでゆっくり下る。沢沿いの登山道からは奥聖岳から続く聖岳東尾根がよく見えた。積雪期につわもの達が越えていくのだろうか。風が心地よいので、乗越ではのんびり昼寝を楽しんだ。懸念していた車道歩きはハプニングのおかげで、予想よりも短い時間ですんだ。それでも暗闇の中に車を見つけた時、ようやく3日間が終わったと安堵した。

ハプニング

18時に歩き始めた頃は明るかった車道も、20時前には真っ暗になった。軽口をたたくのにも疲れ、誰も通る筈がないと車道に寝転がる。雑巾のような私達は無敵モードである。なのに、遠くからライトが近づいてきた。ライトの主は海外登山報告会、チャムラン峰登山報告者武田真敏氏だった。沼平から入り、聖岳・赤石岳を殆ど眠らずに歩いての36時間行動の帰路だったらしい。登山歴6年、31歳という武田さんの話は山に対する真摯な思いに満ちており、話題は尽きず、気がついたら沼平ゲートだった。車まで売り払って海外遠征し、帰国した時には800円しか残っていなかった等のエピソードが印象的だった。

感想

急がないと危険な山行も多々あるが、好天を選べば、小屋泊に縛られないゆるゆる山行も悪くはない。リーダーは天気だけは譲れないと出発を3日延ばした。また山小屋があるので、食料・水の補充や悪天候の場合の避難まで担保できた。今夏はボッカを兼ねた岩トレをただけで、山に飛び込んだ。毎回期待と不安を抱きながら山に入り、のろくてすみませんと思いつつ、とぼとぼ歩く。何度それを繰り返すのだろう。でも次の山行を待っている。やれやれ。

食料計画

今回は各自の体力、食欲に個人差があることから、食料は各自で準備となった。軽量化を心がけ、干し飯、感想牛肉(ビーフジャーキーのようなもの)、乾燥野菜を手作りした。

	2016/8/4	g	cal	2016/8/5	g	cal	2016/8/6	g	cal
朝	おにぎり	200	360	干し飯	100	380	カップめん	100	380
	オレンジ	160	70	味噌汁	9.5	35	白ネギ 10cm	20	5
	牛乳	200	130	乾燥牛肉	20	63			
昼	Y ランチパック	100	260	Y ランチパック	100	260	Y ランチパック	100	260
夜	干しチャーハン	100	380	干しチャーハン	100	380	干しチャーハン	100	380
	味噌汁	9	35	味噌汁	9	35	味噌汁	9	35
	乾燥野菜	20	5	乾燥野菜	20	5	乾燥野菜	20	5
	乾燥牛肉	20	63	乾燥牛肉	20	63	乾燥牛肉	20	63
		809	1303		378.5	1221		369	1128

行動食	g	cal	予備食	g	cal	合計		
おつまみ mix	50	236	コーンフレーク	100×3 食	386		g	cal
飴	40	160	スキムミルク	20×3 食	56	8/4	250	1303
ミカン	100	50		360	1326	8/5	379	1221
大福	95	245	非常食	g	cal	8/6	369	1128
マドレーヌ	40	200	どんべえ	75	311	予備食	360	1326
P ジェル	45	120	柿の種	32	138	行動食	1610	1463
果物シロップ漬け	180	99	柿の種	32	138	非常食	171	725
レモン砂糖漬け	80	100	柿の種	32	138	食料合計	3139	7166
トマトジュース	900	153		171	725			
お茶その他	80	100						
	1610	1463						

山行終了後、予備食と柿の種が残った。一日当たり 3000kcal 以上必要なかもしれないが、実際には 2000kcal 以下で行動したことになる。1 週間以上の長期になると弊害がでるかもしれないが、3 日程度では問題ない気がした。私の場合、疲れると食欲がなくなり、疲労の回復には果物の効果が大きいが、軽量化の対極になる。悩ましい。下山後、牛乳・アイスクリーム・オレンジ、帰宅して豚カツと生野菜をガンガン食べた。

登山計画書

静岡県側から入山するので、長野県への登山計画書の提出は不要かと思ったが、茶臼岳と聖岳は指定山岳になっている。県境付近を縦走するルートは、該当するとあったので、提出した。

ぐうたら理事長のつぶやき

先日 40 周年記念行事についての意見交換会を行ないました。残念ながら参加者は 4 人と少なかったのですが、「滋賀県勤労者山岳連盟の歩み」の小冊子作成と「祝賀会」の開催、近年県連各会同士の交流が殆んど無いので、この機会に大々的に交流会をしてはどうかとの意見があり、来年 10 月 28 日～29 日に湖南アルプスの五味谷堰堤の河原で泊りの交流会を開催する事にしました。来期の総会の議案書で提案したいと思います。ぜひ参加していただきたいと思います。

8 月 11 日に山友会のウォーキング部例会の佐和山城跡に参加しました。10 時に米原駅から出発したのですが、平地を歩くのさえ疲れを感じてしまいみんなに遅れがちでした。フジテックスのタワーを横目に歩き続け、小さな集落を抜けて入口に着きました。もうここまでバテてしまいました。緩やかな登りが続き最後の短い急登が始まりました。地面ばかり見ていると分岐を過ぎてしまい墓地に出てしまった。ここで間違いに気付いたが登り返す元気も無く登山口まで下ってしまった。先に行ったパーティに連絡をするが通じなかった。下って来る場所是一緒なので登山口で待っていた。それにしても殆んど登りのないコースなのにバテてしまった。もうまともに山に登れないなと淋しい思いに駆られてしまった。

一度坂を下り始めると止めどなく下ってしまう印象です。これは何とかしなくてはと思うのだがどうすれば良いのだろう。本当に情けない事になってしまった。

何はともあれ毎朝の散歩だけは欠かさないようにしよう。

9 月は日程が詰まっているので残念ですが理事長例会は無しとします。

新徳山下山遅れ顛末記

2016年7月18～19日

(参加者)友永、Bさん、Tさん、(報告)友永

(コースタイム)

7/18 晴

中津又谷林道駐車場 9:10—9:25 登山口 9:30—10:00 お地藏様 10:10—11:00 新徳峠
11:15—12:05△1039.8m 12:25—14:25 山道出合 14:40—15:45 ビバーク地

7/19 晴

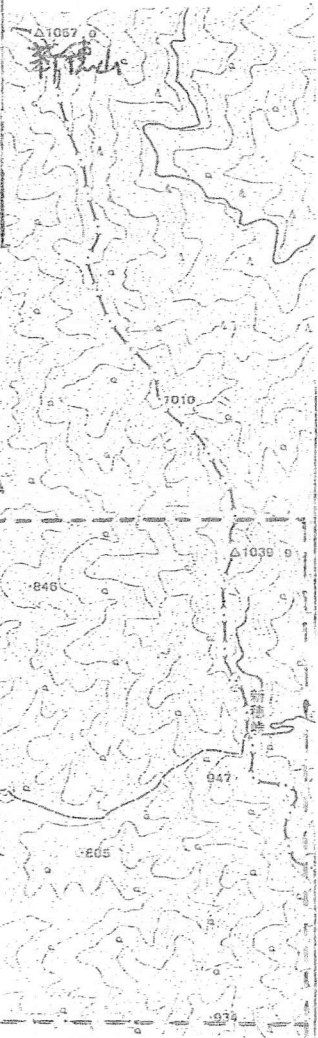
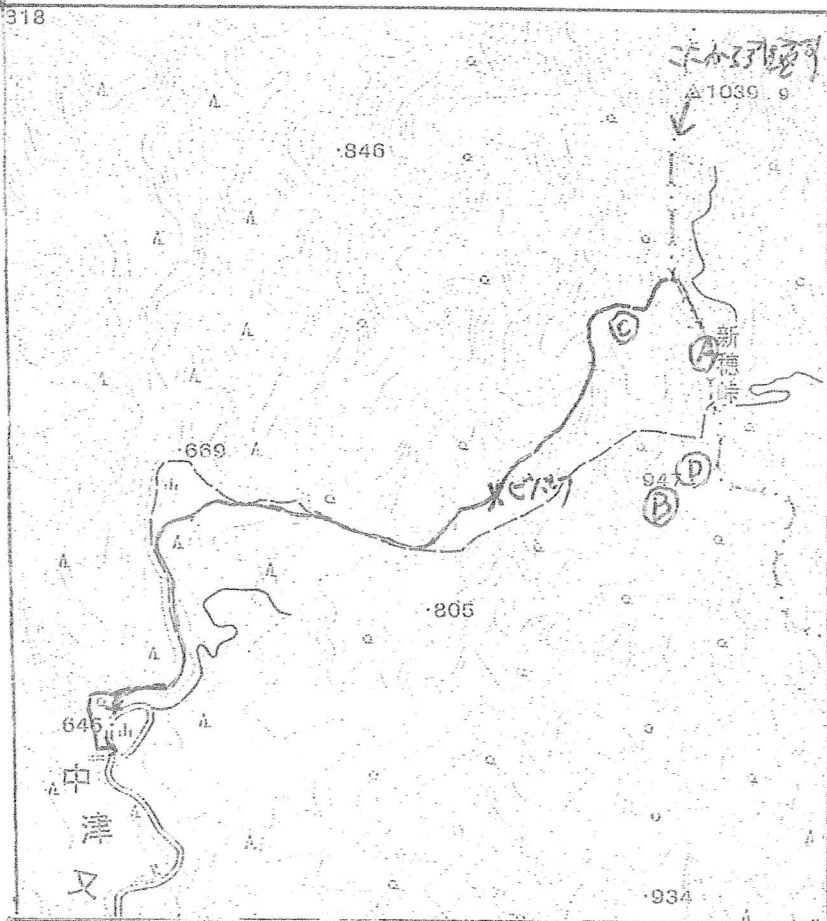
ビバーク地 5:10?—5:50 林道出合 5:55—6:10? 駐車場

7/18

玄関までBさんに迎えに来てもらい、草津駅でTさんと合流し一路甲津原へ向う。高速を米原で降りて伊吹山の麓から姉川ダムを經由して甲津原に着く。少し行き中津又谷林道に入る。しばらく行くと荒れた林道となる。出来るだけ奥まで入ってもらった。伐採跡の広場に車を止めて出発。林道を15分も歩くと登山口に着いた。少し荒れてはいるがしっかりした踏み跡だった。進むにつれてだんだん怪しくなってきた。沢の中を歩くようになる。分岐を見逃したようで方向が違ふと引返す。少し戻ると右上に道らしいものが見えた。登ってみると道だったのでそのまま登り続ける。15分ほど行きお地藏様の所で休憩する。もうすぐ峠かと思ったがそうはいかず。沢より尾根の登りとなり、小さな沢を渡って少し行くと峠に着いた。登山口から1時間30分だった。比較的新しい道標があった。しばらく急な登りが続く。突然足に鉛が入ったように足が重くなった。一步持ち上げるのも苦勞する。一步ごとに息をつきながら登り続けた。もう新徳山まで行くのは無理なので4等三角点の1039.8mで引返す事にする。三角点で長めの休憩をして下山開始。下り続けたが思ったより時間が掛かったので、念のため地図を開いた。これが間違いの元で、現在地を180°勘違いしてしまい、新徳峠の先にある947mを現在地と思い込んでしまった。少し戻り左に下れば峠に出ると思ったが、それらしい鞍部に着かず小さな谷に出てしまった。地図で思った地形とまったく違うのでパニックになった。それでもまだ右の尾根に登れば峠へ下る道があるはずだとトラバース気味に登って尾根に出る。だが道らしいものはない。そのまま下り続けると谷に道らしいものが見えたので下った。道に出たと一安心した。下って行くと登山靴の跡もあった。だが下るにつれ様子がおかしくなる。横に張り出す小枝を押し分けながら下るので体力の消耗が激しい。だんだん足の踏ん張りも利かなくなり、滑ったり地面の根に引っ掛かったりするようになる。広場に出た所で、この状態では事故を起こす危険もありここでビバークする事にする。Bさんが近くの尾根に登って、連絡先に下山遅れの報告をしてくれた。落ち着いて地図を見返すと、どこで間違ったか、どこを歩いたかが判った。正しい道と尾根を挟んで西の谷を下ったことが判る。疲労していると判断力も鈍り、思考回路も停滞してしまう。普段なら間違はずのない場所で勘違いをしてしまった。なまじ地図読みに自信があるだけに、思い込んでしまい独断で判断してしまった。メンバーに意見を求めるなどすれば良かった。雨具など着込んでビバークに備える。幸い天気も良く満月に近い月の光を浴びて夜を過ごした。

7/19

明るくなるのを待って出発する。現在地が判ったので少し余裕が出た。一晚寝て何とか体力も回復した。踏み跡を辿って流れを渡ったりしながら進む。昨日歩いた道を探しながら進むが見付からない。右から本流と思われる谷が合流し進んで行くと、645mの下流にある堰堤に着いて林道に上がる。ここから車までは15分ほどかかった。甲津原で捜索隊が二人こちらに向っているのを知る。伊吹の里で合流することにした。伊吹の里で捜索隊と合流する。今までの経過と下山遅れのお詫びをする。「無事で良かった」と声を掛けてもらった。会に入っていると何かと面倒な事もあるが、こんな時に心配してもらえるのも会に入っているからです。ともあれ山は体力だと改めて知らされました。



(A)の正しいコースにいたのに
 間違えて(B)にいると思い込んだ。
 ので登り返して尾根を左に下れば良い
 と思った。
 登り返した尾根を下り(C)の谷に
 谷に下った。(B)にいたと思って、
 (D)の谷にいたと思い、右の尾根に登り
 返せば正しいコースに戻れると思
 った。実際はまた違う尾根を下り、
 谷に踏み跡が下り谷に下り谷前
 に下った。せめて下り下り下り
 途中でヒールが外れた。
 磁石で方向を確認した。北は
 180度だった。これは気が付か

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
				3	鳥取・大山	山友
				4	9月例会	岳友
				4	俱留尊山	雪稜
				4	びわこパレイ～栗原～和邇駅	ちご
	6	アルパイン講習会(机上講習)		9-11	火打山～焼山	彷徨
	7	第8回理事会		10-11	雪稜会の集い(登山/懇親会)	雪稜
	11	アルパイン講習会(実技講習)		11	呉枯峰	山友
				15	ミーティング	彷徨
				17-19	乗鞍岳	山友
				17-19	北アルプス・剣岳	岳友
				17-19	大普賢岳～行者還岳(大峰)	雪稜
				18	おまかせ山行	ちご
	25	比良縦走大会		21-26	韓国の山(無等山 月出山)	彷徨
	28	アルパイン講習会(机上講習)		24	ミーティング	岳友
	1-2	アルパイン講習会(修了山行)		2	ふれあいハイク(庚申山)	山友
	5	第9回理事会		2	10月例会(場所未定)	岳友
				2	大和路ウォーク	ちご
				8-10	両白・経ヶ岳～法恩寺山	山友
	12	アルパイン講習会(修了式)		8-10	木曾駒ヶ岳～空木岳	岳友
	15-16	アルパイン講習会(終了山行・予備)		15	比良・蓬莱山～キタダカ道	山友
				15-16	野坂岳～三国山	彷徨
10	23	登山祭典	10	20	ミーティング	彷徨
				23	登山祭典(金萮峠～八雲ヶ原)	山友
				23	登山祭典(堂満岳～八雲が原)	岳友
				23	登山祭典(細川尾根～武奈ヶ岳)	雪稜
				23	登山祭典(八淵の滝～八雲が原)	彷徨
				23	登山祭典	ちご
				29	ミーティング	岳友
				29,30	比良・全縦コース	山友
				29,30	鈴鹿錦秋山行	山友
				30	貝月山(岐阜)	雪稜
	2	第10回理事会		3	比良飲み水調査・放射線測定	雪稜
				6	高室山(清掃登山)	岳友
				6	自然保護部例会山行	山友
				13～14	野坂山&30周年祝賀会	ちご
11	19	40周年記念講演会	11	17	ミーティング	彷徨
				19	比良・ホツケ山～蓬莱山	山友
				20	俱留尊山	岳友
				26	ミーティング	岳友
				27	山の辺の道	ちご

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

「編集後記」

リオ オリンピックでの日本選手の大活躍に、齢のせいか涙腺が緩みっぱなしで感動しきり。夏の高校野球の熱戦やプロ野球の結果もかすみがちで、ライブを観ようと思うと時差のため睡眠不足の状態です。皆さまはいかかでしょうか？ 残暑お見舞い申し上げます。

機関紙部の前任者より、県連ニュースの編集担当を受け継ぎ早5ヶ月が過ぎようとしています。原稿執筆者の方々から送られてくる貴重な原稿に目を通し、目次項目に従って取りまとめ、ページ番号を挿入するのに精いっぱい、レイアウトや体裁を整えるまでには未だに至っていません。前任者の足元にも及ばず、読者の方々には大変申し訳ないと思っています。もう少し時間がかかりそうですがご容赦をお願いいたします。

夏山も後半に差し掛かりました。前半と違って大気が不安定で台風の発生数も増えてきました。山行を企画されている方は十分にご注意をお願いいたします。9月25日(日)には、県連主催の比良縦走大会が企画されています。9月になればこの暑さも少しはましになるとは思いますが、参加される方は体調に充分注意されて完歩を目指していただけたらと思っています。来月号には夏山山行の掲載記事を投稿していただけるようお願いいたします。

“まいにちメダル”。2020年の東京オリンピックがすごく楽しみです！

機関誌部：奥野 豊

滋賀県勤労者山岳連盟は まもなく
40周年を迎えます



原稿の投稿先（9月号は2016年9月15日〆切）
メールアドレス yutaka_o@hotmail.com まで

原稿はB5サイズ、フォント10~10.5でお願いします。

「県連ニュース」№541

発行日 2016年8月22日

滋賀県勤労者山岳連盟
〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

http://outdoor.geocities.jp/ami_de_montagne/

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和
編集委員 奥野 豊

小林智子 高玉敬子